

一般

段級

覚かえずいもと彼の林いもと麓とに至→→→る。山は奥→ある→けし→き→にて、
 谷道止まそ右私いはるいかにい松い杉い黒くい蒼出るしたいぶりいて、卯月
 の天。今猶なほ寒いし。十い景い尽つくるい所ところ、

〔奥の細道〕

いつの間にか、寺の麓にまで到着した。山は奥深い雰囲気があり、谷沿いの道も遠くまで
 続いている。松や杉が日光を遮って黒く茂っている、地面には苔も敷き詰められていて、
 四月の空も何となく寒々と感じられる。雲巖寺十景も見終わったところで、

